

学習・教育到達目標に到達するための授業科目の流れ(建設システム工学科建築コース→CAコース R4入学)



- 学習・教育到達目標
- 本邦
- (A) 自然科学と工学の基礎を身につける。
 - (B) 専門分野の基礎知識を修得し、技術の実践に活用できる。
 - (C) 修得した知識を統合し、製品やシステムを考案できる。
 - (D) 実習・実習により現象の理解を深め、実践力を身につける。
 - (E) 技術者に必要な人間性、国際性、協調性及び英語による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。
 - (F) 技術者が自然や社会にもたらす影響を理解し、技術者としての倫理観を身につける。
 - (G) 課題の調査・報告などを適切にまとめ、発表できる。
 - (H) コンピュータを技術の実践に活用できる。
 - (I) 責任を自覚し、互いに協力し合い、チームの目的達成に貢献できる。
- 専攻科
- (1) 高度な数学の知識と幅広い工学の基礎知識を修得し、専門分野に応用することができる。
 - (2) 土木工学および建築分野の深い学習を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。
 - (3) 土木工学および建築分野の応用的な実務を遂行・分析することができ、実習・実習により修得した実践技術をエンジニアリングの実践に活用できる。
 - (4) 修得した人文・社会科学の知識により広い視野と国際感覚を持ち、技術者としての倫理的に行動することができる。
 - (5) 技術者としての実践力、協働力を身につけ、地域、社会等の課題の発見と解決に役立て、修得した知識・技術を駆使して創造的に取り組むことができる。また、その成果を発表することができる。